

太陽熱遮断に効果



熱交換塗料を塗ったミキサー車—静岡市

熱交換塗料に熱視線

建物の外壁や屋根などに塗って太陽熱を遮る遮熱塗料に注目が集まる中、「塗装が熱を吸収して消す」という熱交換塗料で県内の塗装会社が差別化を図っている。汚れに強い性質を持つため屋外の駐車場やミキサー車などにも塗れるのが特長で、新たに取り入れる企業が広がっている。

塗装会社 差別化狙う

「従来の遮熱塗料より3〜4度ほど室内温度が下がる。夏場のコンクリートもはだしで歩ける」。大阪府のメーカーが開発した熱交換塗料の塗装工事を請け負う岸萬塗装（焼津市）の岸靖富営業部長は効果をPRする。

同社は今夏、金融機関の駐車場や生コンクリート会社のミキサー車などへの塗装を施した。住宅向けの注文も無い込んでいます。

6月下旬に熱交換塗料を焼津支店の駐車場の一部に採用したしずおか信用金庫（静岡市）は「塗装部分はヒンヤリする。来店客の快適さにもつながる」（広報担当）と話し、安西支店の駐車場も塗装した。

熱交換塗料は塗膜内部の熱交換物質が太陽熱を運動エネルギーに変えて熱を消す仕組み。県内では同社を含む約10社が熱交換塗料を扱う。

ポラ化成工業袋井工場の流通センターなどに塗装実績があるエヌ・エス・シエイ（浜松市）の須部茂樹社長は「これまでは企業からの受注が多かったが、一般家庭の需要がもっと増えていくはず」と期待する。